2027年3月期
中間期　決算説明

（2026年4月1日～2026年9月30日）

2026年11月6日

エバラ食品工業株式会社

1．　Ebara Reboot 2026の進捗

- 代表取締役社長　森村　剛士

2．　2027年3月期　中間決算報告

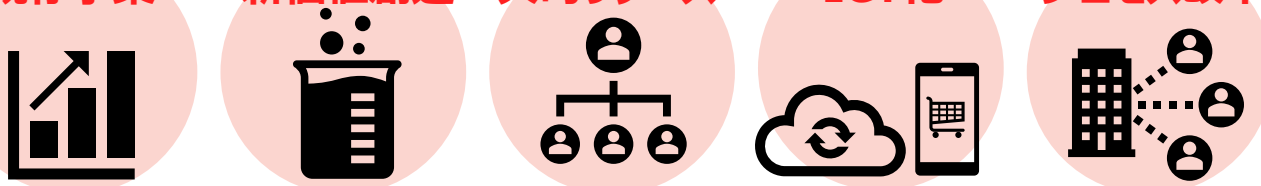
- 取締役　栗野　裕

注記がない限り、表記の数値はすべて連結ベースです。

本資料の金額は単位未満切捨で表示しております。比率は小数点第１位未満四捨五入で表示しております。

Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

中期経営計画 (2024～2026年度)

中期経営計画	**Ebara Reboot 2026**
重要方針	「売上拡大＝利益獲得」ではなく、 「適正な経営資源投下による売上形成・利益最大化」に取り組む
グループ基本戦略	**1．既存事業/領域を磨き上げ、高収益化を追求** **2．新市場/新価値創造による新たな成長軌道の確立** **3．従来の枠組みに捉われない経営基盤改革の深化** **既存事業** **新価値創造** **人的リソース** **ICT化** **プロセス改革** 
連結数値目標	EBITDA 40億円　海外売上高比率 5%以上　総還元性向 50%以上 (営業利益＋減価償却費)

Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

中期経営計画の数値目標について

本日、業績予想の修正と市場買い付けによる6億円の自己株式取得を発表

(単位：百万円)	2027.3 期首計画	**2027.3 修正計画**	**増減率**
売上高	50,200	**50,900**	1.4%
営業利益	1,500 3.0%	**2,100 4.1%**	40.0%
経常利益	1,700 3.4%	**2,300 4.5%**	35.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,000 2.0%	**1,500 2.9%**	50.0%

Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

中期経営計画の数値目標について

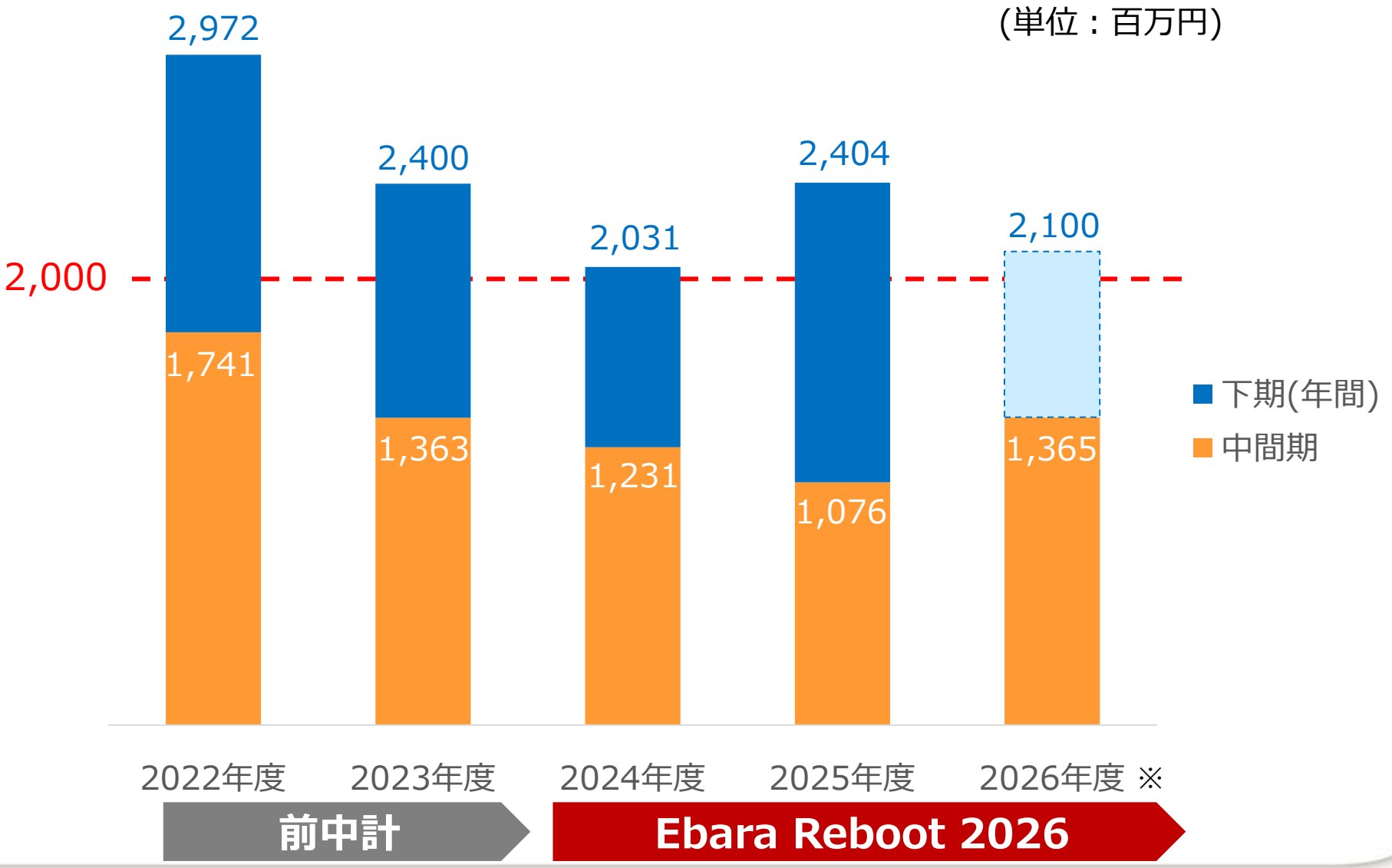
本日、業績予想の修正と市場買い付けによる6億円の自己株式取得を発表

(単位：百万円)	2027.3 期首計画	**2027.3 修正計画**	**増減率**
売上高	50,200	**50,900**	1.4%
営業利益	1,500 3.0%	**2,100 4.1%**	40.0%
経常利益	1,700 3.4%	**2,300 4.5%**	35.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,000 2.0%	**1,500 2.9%**	50.0%

◆中期経営計画　目標	数値目標	2026.3 実績	**2027.3 計画**
EBITDA	40億円	40億円	**37億円以上**
海外売上高比率	5%以上	5.1%	**6%以上**
総還元性向	50%以上	31.7%	**50%以上**

Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

営業利益の推移



Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.

※2026年度下期(年間)は計画値

1．　Ebara Reboot 2026の進捗

■ 代表取締役社長　森村　剛士

2．　2027年3月期　中間決算報告

■ 取締役　栗野　裕

注記がない限り、表記の数値はすべて連結ベースです。

本資料の金額は単位未満切捨で表示しております。比率は小数点第１位未満四捨五入で表示しております。

Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

連結業績

単位：百万円

売上高の伸長により、前年同期比で増収増益
計画対比では、各利益指標が年間の9割前後の進捗

	2025.9	2026.9	2025.9対比		2027.3計画対比（2026年5月15日開示）		
			増 減	増減率	計 画	未達額	進捗率
売上高	24,337	25,442	1,105	4.5%	50,200	24,757	50.7%
売上原価	15,926 65.4%	16,729 65.8%	802 0.3pt	5.0% –			
売上総利益	8,410 34.6%	8,713 34.2%	302 ▲0.3pt	3.6% –			
販管費	7,334 30.1%	7,348 28.9%	13 ▲1.3pt	0.2% –			
営業利益	1,076 4.4%	1,365 5.4%	288 0.9pt	26.8% –	1,500 3.0%	134	91.0%
EBITDA※	1,908	2,183	275	14.4%			
経常利益	1,130 4.6%	1,511 5.9%	380 1.3pt	33.7% –	1,700 3.4%	188	88.9%
特別利益	547	10	▲536	▲98.2%			
特別損失	417	75	▲342	▲82.0%			
純利益	835 3.4%	946 3.7%	111 0.3pt	13.3% –	1,000 2.0%	53	94.7%

Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.

※営業利益＋減価償却費＋のれん償却額で算出

通期業績予想の修正について (2026/11/6 決算と同時開示) 単位：百万円

中間期までの実績と足元の動向を鑑み、通期業績予想を上方修正

	前回発表予想 (A) 2026/5/15開示	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)
売上高	50,200	**50,900**	700	1.4%
営業利益	1,500	**2,100**	600	40.0%
経常利益	1,700	**2,300**	600	35.3%
当期純利益	1,000	**1,500**	500	50.0%

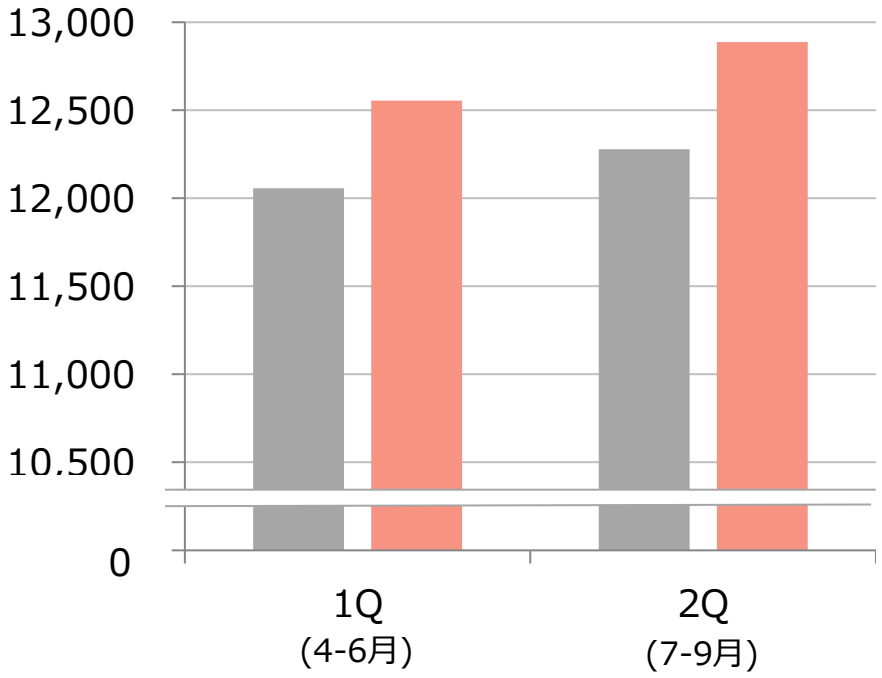
（修正の理由）
売上高の増加や各種コストの削減効果もあり、利益が計画を上回って進捗したため

Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.

売上高・営業利益　四半期推移

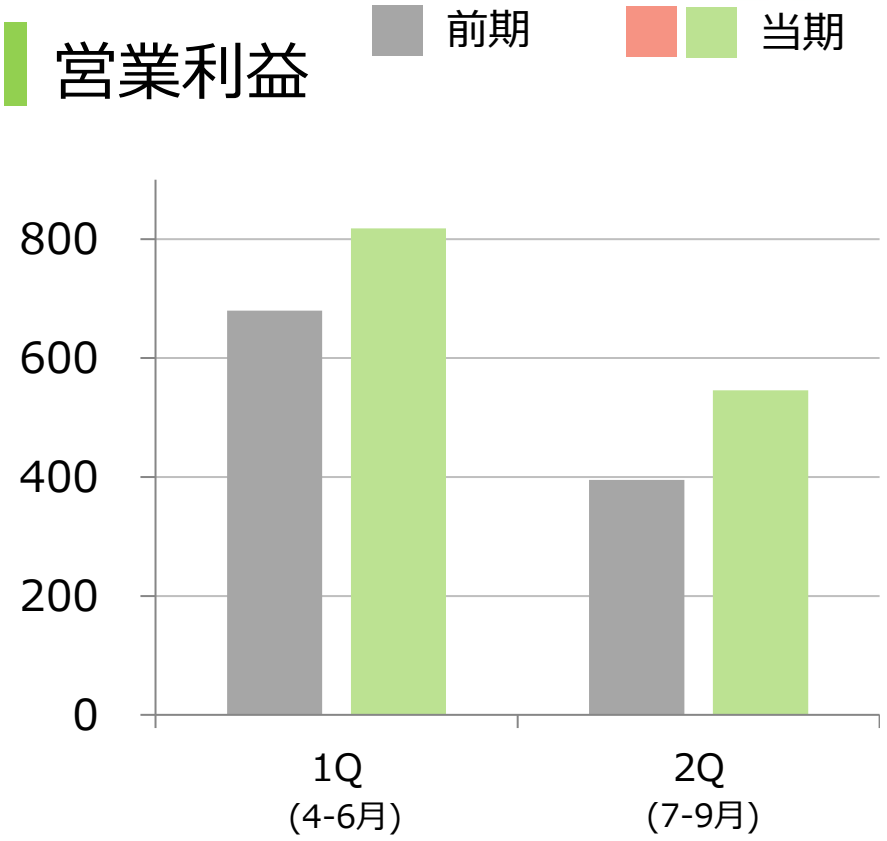
単位：百万円

売上高



	1Q (4-6月)	2Q (7-9月)
当期	12,554	12,887
前期	12,057	12,279
増 減	496	608
増減率	4.1%	5.0%

営業利益



	1Q (4-6月)	2Q (7-9月)
当期	818	546
前期	680	395
増 減	137	150
増減率	20.3%	38.1%

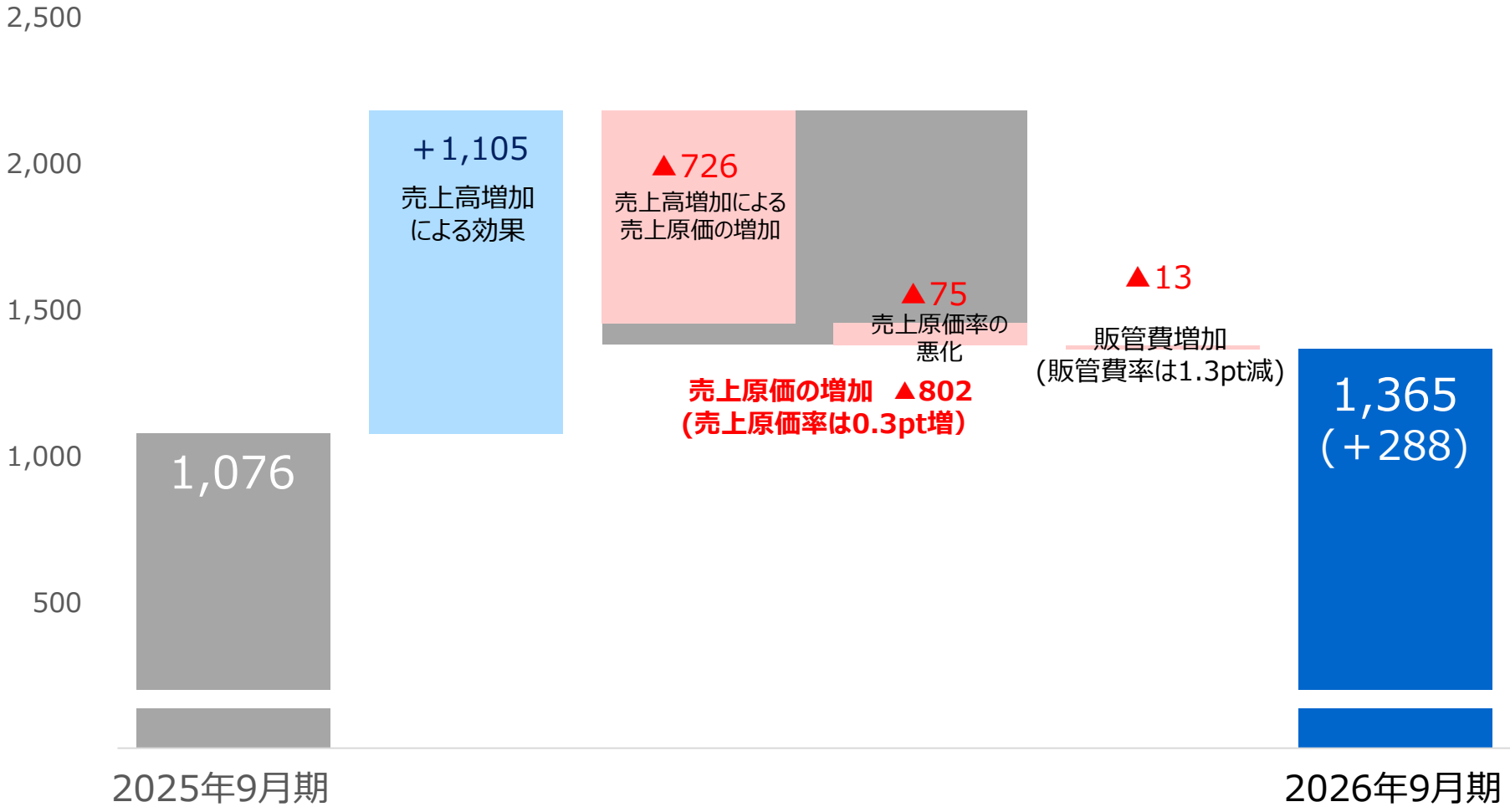
Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

営業利益　増減分析(前年同期比)

増益要因　減益要因

単位：百万円

売上高の増加が売上原価の増加を吸収し、増益



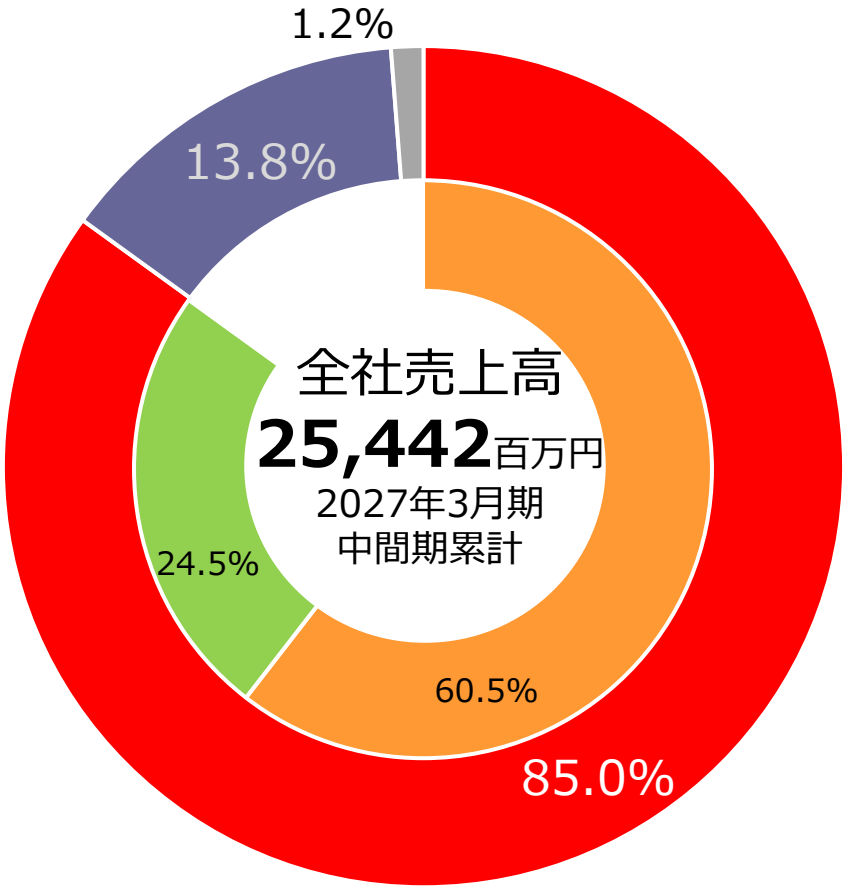
Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

2027年3月期
中間期　決算報告

セグメント･商品区分別　売上高

Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

セグメント･商品区分別 売上高



食品事業

21,617百万円
(前年同期比 4.8%増)

家庭用商品

15,390百万円
(前年同期比 3.2%増)

業務用商品

6,226百万円
(前年同期比 8.9%増)

物流事業

3,510百万円
(前年同期比 3.2%増)

その他

315百万円
(前年同期比 2.4%増)

Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.

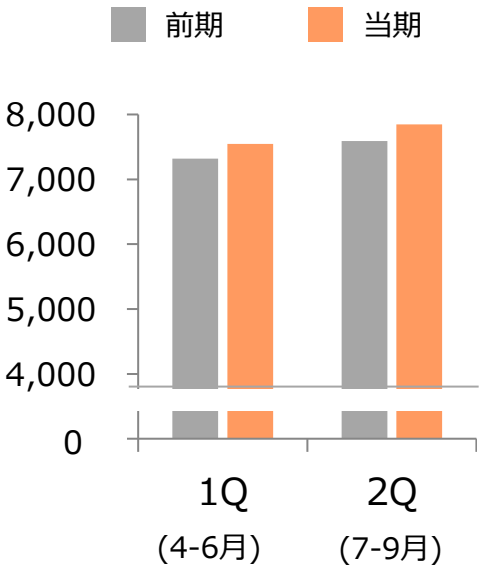
セグメント･商品区分別 売上高

単位：百万円

食品事業（家庭用商品）

売上高増減率
前年同期比　＋3.2%

百万円	中間期 累計売上高
2026.9	**15,390**
2025.9	14,910
増減	**＋480**



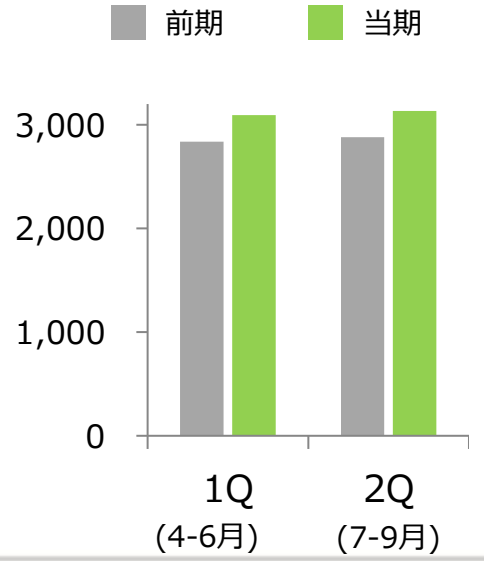
鍋物調味料群、その他群が増収

・鍋物調味料群は『すき焼のたれ』や『プチッと鍋』等が売上貢献
・その他群は、『プチッとうどん』や『プチッと中華』が売上貢献
『横濱舶来亭カレーフレーク』も売上貢献

食品事業（業務用商品）

売上高増減率
前年同期比　＋8.9%

百万円	中間期 累計売上高
2026.9	**6,226**
2025.9	5,718
増減	**＋508**



その他群が大幅増収
肉まわり･スープ群は前年並み

・その他群は、連結子会社の丸二株式会社の売上増加等もあり増収

Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

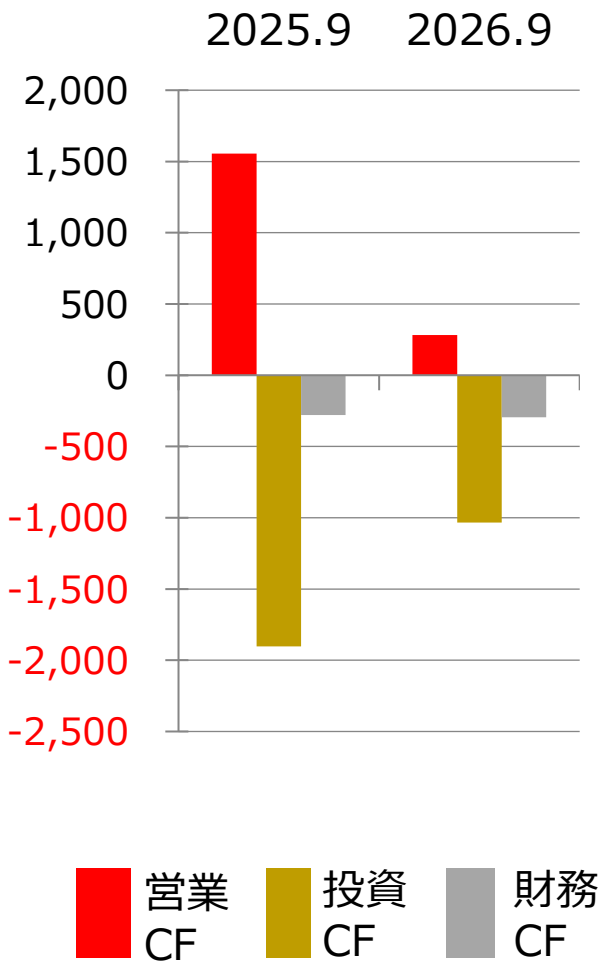
2027年3月期
中間期　決算報告

キャッシュ・フロー

Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

キャッシュ・フロー

単位：百万円



	2025.9	2026.9	増 減
営業キャッシュ・フロー	1,556	283	▲1,273
投資キャッシュ・フロー	▲1,903	▲1,034	869
財務キャッシュ・フロー	▲279	▲294	▲14
フリーキャッシュ・フロー	▲347	▲750	▲403
現金及び現金同等物の増加額（▲は減少額）	▲608	▲1,074	▲465
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,383	15,074	690

2026.9

営業CF	税金等調整前中間純利益	1,446百万円
	減価償却費	806百万円
	売上債権の増加	▲883百万円
	未払金の減少	▲725百万円
	法人税等の支払額	▲789百万円
投資CF	有形固定資産の取得	▲836百万円
	無形固定資産の取得	▲84百万円
財務CF	配当金の支払	▲243百万円

Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.

【再掲】中期経営計画の数値目標について

本日、業績予想の修正と市場買い付けによる6億円の自己株式取得を発表

(単位：百万円)	2027.3 期首計画	**2027.3 修正計画**	**増減率**
売上高	50,200	**50,900**	1.4%
営業利益	1,500 3.0%	**2,100 4.1%**	40.0%
経常利益	1,700 3.4%	**2,300 4.5%**	35.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,000 2.0%	**1,500 2.9%**	50.0%

◆中期経営計画　目標	数値目標	2026.3 実績	**2027.3 計画**
EBITDA	40億円	40億円	**37億円以上**
海外売上高比率	5%以上	5.1%	**6%以上**
総還元性向	50%以上	31.7%	**50%以上**

Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

～ 参考資料 ～

Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

セグメント･商品区分別 売上高

増収：家庭用商品(鍋物調味料群、その他群)、業務用商品、物流事業、その他
減収：家庭用商品(肉まわり調味料群、野菜まわり調味料群)

事業名称及び商品群名			2025.9 (2025年４月~2025年9月)	2026.9 (2026年４月~2026年9月)	増減	増減率
食品事業			**20,628**	**21,617**	**988**	**4.8%**
	家庭用商品		14,910	15,390	480	3.2%
		肉まわり調味料群	6,846	6,828	▲18	▲0.3%
		鍋物調味料群	3,526	3,936	410	11.6%
		野菜まわり調味料群	1,831	1,698	▲133	▲7.3%
		その他群	2,705	2,927	222	8.2%
	業務用商品		5,718	6,226	508	8.9%
		肉まわり調味料群	1,703	1,710	7	0.4%
		スープ群	1,840	1,848	8	0.5%
		その他群	2,175	2,667	491	22.6%
物流事業			**3,400**	**3,510**	**109**	**3.2%**
その他			**307**	**315**	**7**	**2.4%**
合計			**24,337**	**25,442**	**1,105**	**4.5%**

Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.

セグメント･商品区分別 売上高

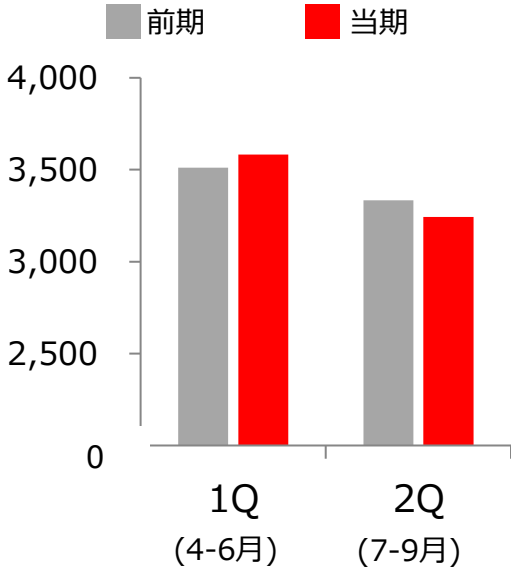
単位：百万円

食品事業 （家庭用商品）

●肉まわり調味料群

売上高増減率
前年同期比 ▲0.3%

（百万円）	中間期 累計売上高
2026.9	**6,828**
2025.9	6,846
増減	▲18



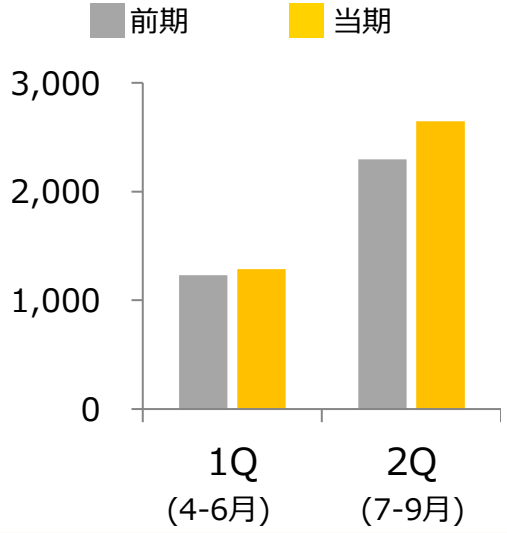
精肉価格高止まりの中、新商品の貢献もあり、前年同期並みの売上



●鍋物調味料群

売上高増減率
前年同期比 11.6%

（百万円）	中間期 累計売上高
2026.9	**3,936**
2025.9	3,526
増減	＋410



『すき焼のたれ』や『プチッと鍋』等が増収



Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.

セグメント･商品区分別 売上高

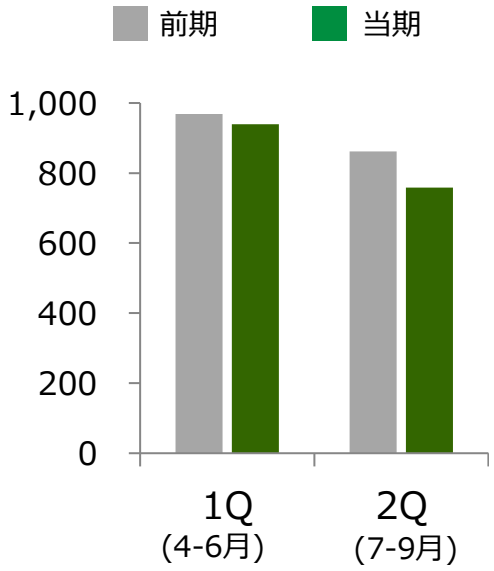
単位：百万円

食品事業 （家庭用商品）

●野菜まわり調味料群

売上高増減率
前年同期比 ▲7.3%

（百万円）	中間期 累計売上高
2026.9	**1,698**
2025.9	1,831
増減	▲133



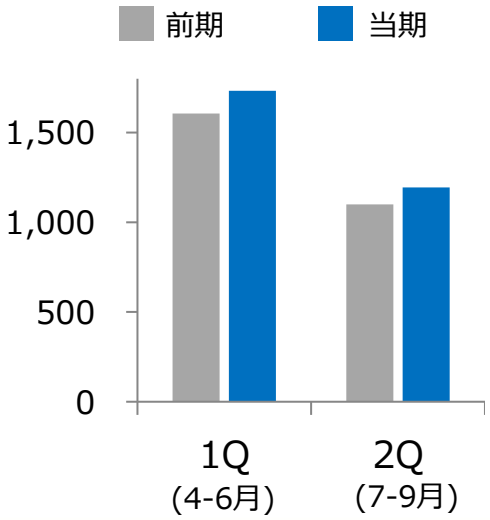
長雨による野菜価格の高騰
気温低下で『浅漬けの素』が減収



●その他群

売上高増減率
前年同期比 8.2%

（百万円）	中間期 累計売上高
2026.9	**2,927**
2025.9	2,705
増減	222



『プチッとうどん』『プチッと中華』
『横濱舶来亭カレーフレーク』が増収





Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.

〔参考資料〕会社概要

商　号	エバラ食品工業株式会社
本店所在地	横浜市西区みなとみらい四丁目４番５号
代 表 者	代表取締役社長　森村　剛士
事業内容	調味料食品の製造販売
資 本 金	13億8,713万円
設　立	1958年（昭和33年）　5月
従業員数	【連結】861名　【単体】517名　（2026年3月末時点）
連結子会社	株式会社 エバラビジネス・マネジメント 株式会社 横浜エージェンシー＆コミュニケーションズ 株式会社 エバラ物流 株式会社エバラフーズ・サービス 丸二株式会社 EBARA SINGAPORE PTE. LTD. 荏原食品（上海）有限公司 荏原食品香港有限公司 台灣荏原食品股份有限公司 EBARA FOODS (THAILAND) CO., LTD. EBARA FOODS MALAYSIA SDN. BHD.
持分法適用会社	株式会社スギショーテクニカルフーズ

Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

〔参考資料〕沿革①

１９５８年	５月	荏原食品株式会社 設立
１９６８年	１月	『札幌ラーメンの素（味噌スープ）』発売
	３月	『焼肉のたれ・朝鮮風』発売
	７月	エバラ食品工業株式会社に商号変更
１９７０年	４月	テレビＣＭ 開始
１９７８年	６月	『黄金の味』発売、テレビＣＭを全国一斉放映
１９８０年	７月	群馬工場（群馬県伊勢崎市） 稼働
１９８４年	４月	栃木工場（栃木県さくら市） 稼動
	１１月	宣伝部門を独立 株式会社横浜エージェンシーを設立
１９９０年	５月	株式会社エバラ物流を設立
１９９４年	４月	津山工場（岡山県津山市） 稼動
２００３年	１１月	日本証券業協会に株式を店頭登録
２００４年	９月	株式会社サンリバティー横浜（人材派遣業）を子会社化
	１２月	ジャスダック証券取引所（当時）に株式を上場
２００５年	４月	荏原食品（上海）有限公司を設立
２０１１年	６月	チルド事業に関する合弁会社 株式会社エバラCJフレッシュフーズを設立
２０１２年	１１月	荏原食品香港有限公司を設立
２０１３年	１１月	東京証券取引所市場第二部に市場変更
２０１４年	４月	株式会社横浜エージェンシーが株式会社サンリバティー横浜を吸収合併
	５月	株式会社横浜エージェンシーが株式会社横浜エージェンシー＆コミュニケーションズに商号変更
	５月	本社を横浜市西区みなとみらい四丁目に移転
	１２月	東京証券取引所市場第一部に指定

Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.

〔参考資料〕沿革②

２０１５年	３月	荏原食品香港有限公司 シンガポール支店を設立
２０１７年	１月	台灣荏原食品股份有限公司を設立
２０１８年	８月	EBARA SINGAPORE PTE. LTD.を設立
２０２１年	６月	EBARA FOODS (THAILAND) CO., LTD.を設立
２０２１年	10月	合弁会社 株式会社エバラCJフレッシュフーズの全株式を譲渡
２０２２年	１月	株式会社スギショーテクニカルフーズの株式を取得
２０２２年	4月	株式会社エバラビジネス・マネジメントを設立
２０２２年	5月	EBARA FOODS MALAYSIA SDN. BHD.を設立
２０２２年	5月	ヤマキン株式会社の株式を取得
２０２３年	10月	丸二株式会社の株式を取得
２０２５年	４月	株式会社エバラフーズ・サービスを設立

Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

免責事項

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、実際の結果と異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- 主要市場における景気動向
- 為替動向、金利変動
- 資本市場の動向
- 価格競争の激化
- 調達環境の変化
- 提携、アライアンス、技術供与による競争関係の変化
- 公的規制、政策、税務に関するリスク
- 商品、サービスの欠陥や瑕疵に関するリスク
- 研究開発投資、設備投資、事業買収・事業再編等に関するリスク
- 自然災害や突発的事象発生のリスク
- 会計方針の変更

Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

こころ、はずむ、おいしさ。

エバラ

※　この資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記載は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

※　本資料の金額は単位未満切捨で表示しております。比率は小数点第１位未満四捨五入で表示しております。

● お問合せ先　：　広報IR部　（ TEL　045-226-0240 ）

Copyright © 2026 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.